



〇目的

富士市主催の防災イベントで、市内で起こり得る自然災害に関する「知識」を学び、地震体験車や初期消火などを実際に「体験」し参加者が学んだ「知識」と「体験」を各家庭や職場、自主防災会の防災対策につなげることを目的としています。

〇イベント概要

- ・日時 : 令和6年11月16日(土)10時～14時
- ・場所 : ふじさんめっせ
- ・主催 : 富士市
- ・参加 : 国・県・市等公共機関 25ブース
各協会・NPO法人等 17ブース
民間企業 20ブース
- ・参加者 : 約180人(ブース訪問者数)
- ・内容 : 事業説明パネル
土石流模型で土石流キャッチャー
土石流対策模型
地すべり対策模型
3D溶岩流シミュレーター など



当日の状況



実施状況



土石流キャッチャーを操作



3D溶岩流シミュレーターを体験中

〇当日の様子

今回のイベントでは、62か所のブースが会場内に設けられました。

大人気の土石流キャッチャーでは、まだ上手く出来ない小さなお子さんもお母さんと一緒に挑戦し、無人化施工を体験してもらいました。

また、3D溶岩流シミュレーターでは、自分がヘリコプターを操縦しているような視点で、富士山の溶岩の流れを学習してもらいました。

その他、パネル等の展示や富士砂防事務所の施設に設置されているCCTVカメラでとらえた土石流の映像などを通して、普段見ることの少ない砂防堰堤や実際の土石流の説明を行い、富士砂防事務所が行っている事業の理解を深めてもらいました。